

スローテンポ通信

第 38 号

2020 年 10 月 9 日

発行:スローテンポ書店

〒323-0023 小山市中央町 3-7-1 ロブレ地階

☎ 0285-32-7211

Eメール usagimokamemo@gmail.com

ブログ『うさぎもかめも』

<http://usagimokamemo.blog.fc2.com/>

おすすめの本

ブログに詳しく紹介されています

○『コンゴ共和国 マルミミソウとホタルの行き交う森から』増補改訂版

西原智昭著 現代書館 2020 年

☆☆☆☆☆

著者は、30 年間コンゴ共和国の熱帯林で、狩猟採集民やゴリラたちと生活をともにしてきた。武装勢力が暗躍するコンゴ人民共和国は隣国。2 年前の初版に、12 章さらに隠蔽される“真実”が追加された。

正直で世間に迎合しないところがよい。学校も親も社会も、人を幼稚園児のように扱い形だけで社会参加させようとする。メディアもそれに加担する。それはたいがい巨大資本の利益につながっている。この本はゴリラの話ではなく、人間の話だ。

○『ブルガリアのごはん』

文 銀城康子 絵 萩原亜紀子

農文協 絵本世界の食事 21 2020 年

☆☆☆☆☆

ブルガリア人は、歴史に翻弄されても貧しくても、ブルガリアのごはんを食べる。日本のコンビニ弁当やファーストフードは、利便性ばかりが強調されるが、食べる喜びは無視される。大企業の利益のために、日本の食文化が破壊されたのではないだろうか。

* * *

プロジェクト参加者募集中!

- ・一箱古本市をロブレで定期的開催する。
- ・ロブレと小山駅周辺を魅力的にするためにどうするか。

スマホとコンゴと日本人

ノーベル賞受賞者のムクエゲ医師とコンゴの悲惨な現状がテレビで紹介されていた。

コンゴでは組織的レイプが後を絶たない。武装勢力が、住民に恐怖心を植え付け地域を支配するための武器になっている。彼らはレアメタルを採掘し、資金源にする。

スマホに必要なレアメタルの 80%がコンゴで産出される。100 以上の武装勢力がその獲得のために争っている。

ムクエゲさんは性暴力被害者たちの治療にとどまらず社会復帰の支援もしている。さらに、世界に向けて「無関心は罪だ」と叫び支援を訴え続けている。その活動はベルギーで映画になっている。2019 年には日本にも来ている。

今、彼の活動の拠点病院は新型コロナウイルスとの闘いの最前線にある。テレビ画面で「検査ができない。医療資材が不足している。移動禁止で医療活動も支援活動もままならない。武装勢力の勢いが増している」と訴える。

誰もが彼の活動を称賛する。理解と支援を求める思いはよく理解できる。

しかし番組が終わって疑問に思った。

病院支援ばかりを訴えるが、病院を支援したところで被害はなくなる。原因をつくっているのは誰なのだ。武装勢力と、それを野放しにする国際社会ではないのか。

世界に訴えられるせっきくのチャンスなのに、ムクエゲさんは何故そこを訴えないのだ。

スローテンポ書店で毎週開催している懇話会に、コンゴ出身者が参加しているので、その彼にこの疑問をぶつけてみた。するとすぐさま答えが返ってきた。

「えっ、そんなことはない。ムクエゲはいつもそれを積極的に訴えている」

たずねた方が驚いた。そしてネットで調べた。そして自分の無知を恥じた。

ムクエゲさんのヒロシマでの講演記録があり、そこで彼はコンゴの悲惨な事情と自分の思いを詳細に語っている。

暴力によって女性の体が破壊される実態を訴える。婦人科医だから誰よりも

女性の体をいとおしむ。生活も運命も共にするコンゴ人共通の思いを切実に語りかける。レアメタルがあるから、女性の体が犠牲になっているという言葉には悔しさが込められている。

ムクエゲさんは「平和」を訴えるにとどまらず「正義」も訴える。

国連がコンゴで長年にわたる人権侵害について調査した。その報告書が 2010 年になって出された。

しかし、10 年経った今も、レイプ犯や虐殺犯が処罰されていない。犯罪者が権力を握っている。彼は世界に向けて正義の実現を訴え続けている。

日本のニュースは都合の悪いところが消される。都合よくアレンジして報道し、国民の関心事を操作する。そして国民を、今幸せだと思うように仕向けている。

それで国民は幸せなのか?

そんなことはない。自殺に追い込まれる人を大量に生んでいる。

そもそも、強盗殺人、集団レイプの犯罪集団からものを買うことが許されるのか。犯罪集団から買い求めたレアメタルで部品がつけられ、その部品からスマホが出来上がる。そのスマホを買う行為は、回り回って間違いなくコンゴの武装勢力を育てることになる。それも知らずに、日本人はスマホを買い求め、おとく情報を必死になって捜し求めている。

スマホをつくる人、売りたい人、使いたい人は、何よりもまず犯罪集団を処罰するよう国際社会に働きかけ、健全な市場をつくり上げ、健全な取引ができるよう努力しなければならない。

情報にだまされないために、われわれはどうすればよいのか。

「ネットで世界のニュースを常にチェックせよ」といっても、それを出来る人などいない。

大切な情報には、常に人が関わってくる。いろんな人から話を聞けばよい。コンゴのことはコンゴ人に聞けばよい。

自分の世界に閉じこもっていれば世界が狭まる。たくさんの人から話を聞くのがよい。いろんな人の話を聞きたい人は、スローテンポ書店が開催する懇話会に参加するのがよい。

(ブログ『うさぎもかめも』より改編)

混乱する今だからこそ、本屋に行こう!

スローテンポ書店

小山駅前 ロブレ地階

日本を見つめ、世界を見つめ、自分を見つめる。本があなたを待っています。

オープン: 火~土 13 時~19 時 (日月祝日休み)



☆懇話会 ディベート型を廃し、課題解決型に取り組んでいます。土曜日午後 3 時~5 時、参加無料。

水曜日から土曜日に変更しました。消毒と換気に気をつけております。感染防止距離を確保して話し合います。マスクをつけてご参加ください。

☆ 実用文教室

文章はコミュニケーションのツールです。まず、何を訴えたいのかを確認します。その後、訴えたいことがきちんと伝わるようお手伝いします。木曜日午後 3 時~5 時。